

8 の 5 耐震 改修 工事 あと 施工 アンカー 工事	(あと施工アンカー) 1 あと施工アンカーの材料 (8.2.4) (表8.2.2)	種類 ・ 金属系 セットの方式 ・ 本体打込み式 (・ 改良型 ・ 従来型) 径及び埋込み長さ ・ 図示 (図面番号:) 引張耐力 ・ 図示 (図面番号:) せん断耐力 ・ 図示 (図面番号:) 接合筋の種類・径・長さ ・ 図示 (図面番号:) ・ 接着系 カプセル型回転 ・ 打撃式 ・ 有機系 ・ 無機系 径及び埋込み長さ ・ 図示 (図面番号:) 引張耐力 ・ 図示 (図面番号:) せん断耐力 ・ 図示 (図面番号:) アンカー筋の種類 ・ 図示 (図面番号:) アンカー筋の新設壁内への定着長さ ・ 図示 (図面番号:) あと施工アンカーの性能確認試験 ・ 行う ・ 行わない
	2 あと施工アンカーの施工 (8.12.4) (8.12.6) (8.12.7)	穿孔 埋込み配管等の探査の方法 ・ 鉄筋探知機 (金属探知機) により検査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う。 ・ はつり出しによる。 ・ () あと施工アンカーの施工確認試験 ・ 実施する ・ 実施しない 試験方法 ・ 引張試験機による引張試験 ・ () 1ロットの単位 1日に施工されたものの径及び仕様ごと ・ () 試験の箇所数 ・ 1ロットに対し3本 (無作為) ・ () 確認強度 ・ () 場所打ちコンクリート壁の増設工事) 3 シアコネクタ 種類 ・ 金属系あと施工アンカーの異形差筋アンカー ・ 接着系あと施工アンカーの異形差筋アンカー 径[mm] ・ D10 長さ[mm] ・ 増打壁厚－40 ・ () 影込み深さ[mm] ・ 5d (d: シアコネクタの径) 以上 ・ () 間隔[mm] ・ 500×500 シアコネクタとセパレーターの兼用 ・ 兼用してもよい ・ 兼用しない ・ ()
8 の 6 耐震 改修 工事 鉄骨 工事	1 鉄骨製作工場 (8.1.5)	㈱日本鉄骨評価センター又は㈱全国鉄骨評価機構の「鉄骨製作工事の性能評価基準」に定めるグレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場 ・ J ・ R ・ M ・ H ・ S
	2 鉄骨製作工場における施工管理技術者 (8.1.6)	施工管理技術者 (鉄骨製作管理技術者、鉄骨工事管理責任者等) の配置 ・ しない ・ する
	3 鋼材 (8.2.8)	種類・形状及び寸法 ・ 図示 (図面番号:)
	4 高力ボルト (8.2.9) (8.14.2) (8.14.7)	高力ボルトの適用 ・ トルシア形高力ボルト2種 (S10T) ・ JIS形高力ボルト2種 (F10T) ・ 溶融亜鉛めっき高力ボルト1種 (F8T相当) ねじの呼び ・ 図示 (図面番号:) すべり試験 ・ 行う (試験方法等 図示: 図面番号) JIS形・ナット回転法かつボルト長がねじの呼びの5倍を超える場合の回転量 ・ ()
	5 溶接材料 (8.2.10)	・ 改修標準仕様書 (8.2.10) (1) (2) 以外の溶接材料 材料及び使用箇所 ・ 図示 (図面番号:)
	6 仮組 (8.13.10)	仮組の実施 ・ 実施する () ・ 実施しない
	7 溶接作業を行う技能資格者 (8.15.3)	溶接作業における技能資格者の技量付加試験 ・ 実施する () ・ 実施しない
	8 溶接の準備 (8.15.4)	開先の形状 ・ 図示 (図面番号:)
	9 溶接施工 (8.15.7)	鋼製エンドタブの切断 ・ 適用箇所 図示 (図面番号:) 切断面の仕上げ ・ () 鋼製エンドタブに代わるその他の工法 鋼製エンドタブに代わるその他の工法については、代替エンドタブ (セラミックタブ又はフラックスタブ) を用いたものとし、工法の採用にあたっては、以下の項目の両方とも満足することを条件とし、監督員の承諾を受けること。 1. 相当数の代替エンドタブによる溶接を行ったことがある工場での製作であること。 2. 製作工場がJ・R、Mグレードの場合は、溶接技能者がNPO法人日本エンドタブ協会による固形タブに係るエンドタブ施工講習修了者 (溶接技能者・A級以上) 又はAW検定協議会による代替エンドタブ技量認定資格者 とすること。また、製作工場がH、Sグレードの場合は、溶接技能者がAW検定協議会による代替エンドタブ技量認定資格者 とすること。 板厚が異なる場合の突合せ継手溶接部 ・ 低応力高サイクル疲労を受ける部位 図示 (図面番号:) スカラップの形状 ・ 図示 (図面番号:)
	10 溶接部の試験 (8.15.12)	溶接部の外観試験 ・ 試験方法 () ・ 確認方法 () 完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 工場溶接の場合 ・ 全数試験とする ・ 公共建築工事標準仕様書 (平成31年版) (7.6.12) (イ) による。 平均出検品質限界 (AOQL) ・ 4.0% ・ 2.5% ・ () 検査水準 ・ 第6水準 ・ () ロットの構成 () 工事現場溶接の場合 ・ 全数試験とする ・ 公共建築工事標準仕様書 (平成31年版) (7.6.12) (イ) による。 平均出検品質限界 (AOQL) ・ 4.0% ・ ()

1 1	鉄骨の鎖止め塗装 (8.17.2) (8.17.4)	鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内面（鉄骨に溶接されたものに限る） ・ 改修標準仕様書（7.3.2）（表7.3.1）（ ）種 耐火被覆材の接着する面の塗装範囲 ・ 図示（図面番号： ） ・ 改修標準仕様書（7.3.2）（表7.3.1）（ ）種 耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲 ・ 図示（図面番号： ）									
	1 2 耐火被覆の種類及び性能 (8.18.2) (8.18.3)	<table><tr><th>部位</th><th>種類</th><th>材料・工法</th><th>耐火性能</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	部位	種類	材料・工法	耐火性能					
	部位	種類	材料・工法	耐火性能							
1 3 ブレース設置工事後の仕上げ (8.22.9)	・ 図示（図面番号： ）										
1 4 スタッッド (8.2.11)	スタッッドの種類 ・（ ）										
8 の 7 耐震改修工事 グラウト工事	(グラウト工事) 1 モルタル及びグラウト材 (8.2.6) (8.2.12) (表8.2.5) (表8.2.10)	構造体用モルタル ・ 改修標準仕様書（8.2.6）及び（8.2.12）による。 無収縮モルタル ・ 改修標準仕様書（8.2.12）（1）による ・（ ） グラウト材 ・ 改修標準仕様書（8.2.12）（2）による。 増設の現場打ち鉄筋コンクリート壁と既存構造体との隙間の処置方法 <table><tr><th>部位</th><th>処理方法</th><th>備考</th></tr><tr><td>・ 増設壁の上部</td><td>・ グラウト材を注入 ・（ ）</td><td>・ 寸法は図示による</td></tr><tr><td>・（ ）</td><td>・（ ）</td><td>・（ ）</td></tr></table>	部位	処理方法	備考	・ 増設壁の上部	・ グラウト材を注入 ・（ ）	・ 寸法は図示による	・（ ）	・（ ）	・（ ）
	部位	処理方法	備考								
・ 増設壁の上部	・ グラウト材を注入 ・（ ）	・ 寸法は図示による									
・（ ）	・（ ）	・（ ）									
2 既存構造体との取合部の処理方法 (8.21.9) (8.22.7)											
8 の 8 耐震改修工事 柱補強工事	(連続繊維補強工事) 1 連続繊維シート等による工法 (8.24.1)	連続繊維による補強、補修工法 ・ (財)日本建築防災協会の評価を受けた工法とする。 ・（ ）									
	2 連続繊維シート及び含浸接着樹脂等の材料 (8.2.13)	連続繊維の材料 ・（ ） 工法 ・（ ） 引張強度（含浸硬化後） ・（ ） ヤング係数（含浸硬化後） ・（ ） 仕上げモルタルの除去 ・ 既存構造躯体面まで除去する ・ モルタル除去は行わない ・（ ） 既存モルタルの圧縮強度測定 ・ 行う（ ） ・ 行わない ひび割れ部の改修工法 ・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシーリング材充填工法 ・ シール工法 柱頭柱脚の隙間寸法 ・ 図示（図面番号： ）									
	4 鋼板巻き工法及び帯板巻き付け工法 (8.23.6)										
	5 耐震補強後の仕上げ (8.23.7) (8.24.7)	・ 図示（図面番号： ）									
	6 炭素繊維シートの施工	炭素繊維の目付量 ・ 図示（図面番号： ） ・ 200g/m2 ・ 300g/m2 ・（ ） 炭素繊維シートの巻き数 ・ 図示（図面番号： ） ・ 1巻き ・ 2巻き ・（ ） 引張強度試験 ・ 実施する（JIS A1911に準拠する） 試験数量（ ） ・ 実施しない 付着強度試験 ・ 実施する（JIS A6909に準拠する） 試験数量（ ） ・ 実施しない 耐震スリットの種類及び形状 完全スリットの形状									
	7 連続繊維補強材の強度試験 (8.24.6)										

8
の
9

耐震補強工事

スリット新設工事

免震改修工事

制振改修工事

(耐震スリット新設工事)
1 スリットの種類
(8.25.1)
(8.25.2)

耐震スリットの種類及び形状
完全スリットの形状

	一般型	一面せん断型	
記号			
形状	・ 図示 (図面番号:)	・ 図示 (図面番号:)	
幅W (mm)	・ 図示 (図面番号:) ・ ()	・ 図示 (図面番号:) ・ ()	
既存鉄筋の処理	・ 既存鉄筋はつり出し ・ 切断してよい ・ ()	・ 切断してよい ・ ()	

部分スリットの形状

	片側スリット	両面スリット	
記号			
形状	・ 図示 (図面番号:)	・ 図示 (図面番号:)	
幅W (mm)	・ 図示 (図面番号:) ・ ()	・ 図示 (図面番号:) ・ ()	
目地部の残存厚さ	・ 壁厚の1/2以下かつ70mm以下	・ 壁厚の1/2以下かつ70mm以下	
ts (mm)	・ ()	・ ()	
既存鉄筋の処理	・ 存置する ・ 既存鉄筋はつり出し ・ 切断してよい ・ ()	・ 存置する ・ 切断してよい	

スリット部の配管等の調査

範囲
・ スリット新設部に伴う鉄筋コンクリートの撤去範囲全て。
・ 図示 (図面番号:)
・ ()

スリットの逃げ位置

壁上部部
・ 梁との接合部
・ ()

壁下部部
鉄筋探索機による鉄筋位置確認、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う。
・ 床仕上げ上部
・ 床体上部
・ ()

撤去部の補修

・ 図示 (図面番号:)

充填材

・ 耐火材 使用箇所 () 仕様 ()
・ 遮音材 使用箇所 () 仕様 ()

3 免震・制振改修
(8.26.1)～
(8.27.9)

免震改修、制振改修に関する仕様は、図示する。

8
の
10

その他工事

1 土工事
(8.28.2)
(8.28.3)

既存杭の撤去

・ 図示 (図面番号:)

埋戻し及び盛土の材料及び工法

・ A種
・ B種
・ C種
・ D種

建設発生土の処理

建設発生土は、土砂等の崩落、飛散又は流出による災害の防止及び生活環境の保全上支障が生じないよう、関係法令等に基づき適正に処理すること。

・ 現場内利用できる
・ 仮置き場所 ()
・ 運搬距離 (Km)

・ 現場内利用できない

・ 受入地指定
受入地の条件
・ 受入先、施工条件、特定条件等 (図面番号:)
・ 運搬距離 (Km)
・ 受入料金あり
・ 受入料金なし
・ 受入地未定につき別途協議する。 暫定運搬距離 (Km)

2 地業工事
(8.28.4)

杭の施工監理

杭工事特記仕様書による。

適用基準

本特記事項に個別に記載の適用基準に加え、以下の基準を適用する。
国土交通省告示第468号 「基礎ぐい工事の適正な施工を確保するために講ずべき措置」 (平成28年3月4日)

施工記録

受注者は、杭の施工期間中は、1週間ごとに、その週に施工した杭の施工記録を取りまとめ、翌週以内に監督員に、工事打合せ簿を添付したうえで提出し、確認を受けること。また電流値が記録されたチャート紙等の原本を合わせて提示し、必ず監督員の確認を受けること。

なお、取得すべき施工記録が取得できない場合に、当該施工記録に代替する記録を確保するための手法については、施工計画書に明記しておくこと。

根拠資料

共通仕様書、特記仕様書及びその他基準書等の定めにより作成した施工管理資料の根拠となる資料 (施工記録の原本、チャート紙、電子的な記録やプリントアウト紙等) は、受注者において全て適切に管理し、保管しなければならない。保管期間は契約書第31条第4項又は第5項 (第38条においてこれらの規定を準用する場合を含む。) の規定による引渡しを受けた日から10年とする。

また、発注者から請求があった場合は、速やかにこれらを提出または提示しなければならない。

試験杭及び試験掘

・ 試験杭 位置、本数及び寸法は図示 (図面番号:) による。
・ 試験掘 位置、本数及び寸法は図示 (図面番号:) による。

杭の支持層

支持層の位置、土質、杭の根入れ長さ
・ 図示 (図面番号:)
・ ()

水平方向の位置ずれの精度

・ () mm以下

特 記 事 項	

	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号
	株式会社 前野建築設計
	管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝

代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早紀	設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認
-------------------------------------	------------------------------------	------------------------------------	------	------	------	------	------	-------

工事名称 南部保育所児童用トイレ改良工事	設計日 R5/8/31
図面名称 建築工事 特記仕様書 6	図面番号 A06
施 尺 A3: NS	